

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書】（小学校用）

都道府県名	埼玉県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	さいたま市立常盤小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	4	3	4	4	5	26	32
児童数	115	116	147	105	132 (2)	128	31	774 (2)	

研究の概要

1. 研究主題

豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもをめざして
算数科「自ら考え、共に学び合う子どもをめざして」

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

* 実施学年及び教科を選択した理由
・ 1～6年生・算数
児童の理解の状況に差が出やすい教科、学年であるため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 自ら考え、共に学び合う子どもをめざして 仮説 少人数指導を導入すれば、 個に応じた指導ができ、基礎・基本の確実な定着をはかることができる であろう。 算数的活動の場を多く設定することができ、そこから考える力を伸ばす ことができるであろう。 複数の教師の目で子どもを見守り、より子どもの力をとらえることが でき、指導に生かすことができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 年間指導計画・評価基準の作成 児童の実態の把握 少人数指導の形態について検討と授業実践</p>
--------	---

平成16年度	<p>テーマ 自ら考え、共に学び合う子どもをめざして</p> <p>研究の見通し(仮説) 上記と同じ</p> <p>研究の内容・方法 教科の特性を生かした少人数指導・習熟度別指導の指導方法・移動形態 の研究 教員の指導力向上のための授業研究 教材開発（算数的活動や習熟度別・発展的内容） 評価の工夫</p>
--------	---

(3) 研究推進体制

* フロンティアスクールとしての実践研究組織

校長 教頭 研究推進委員会 全体会 算数パート 各学年

* 特に工夫している点
算数科指導体制の工夫 各学年週3時間複数教師による指導時間の確保
学習形態(工)の場合にはサポーターによる協力を実施

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

(1) 少人数指導の効果的な形態の検討

支援学習
教師1が主として授業を進め、教師2が個別支援、評価等を行う。低学年などで学習の取り組みへの個人差が大きい時に効果的である。

グループ学習
学級を2グループに分けて少人数にして同じ内容を学習する。発表の機会が増え授業に積極的に関わって効果的である。

問題・方法選択学習
興味・関心に応じた問題や方法別グループで学習する。興味・関心に応じた問題や方法に挑戦すること「自ら考える」ことに意欲的になれる。

コース学習(習熟度別学習)
「なるほどコース(復習)」「ばっちりコース(補充)」「チャレンジコース(発展)」に分かれて学習する。子どもは本時までの学習状況や診断プリントから自分が学習したいコースを選ぶ。

(2) 年間指導計画に学習形態の位置づけ
年間指導計画に効果的な学習形態を位置づけ、計画的に指導することで基礎・基本の確実な定着を図る。

2年年間指導計画 例 図をつかってかんがえよう[たし算とひき算]

時	目標	学習活動	おもな評価規準	資料	指導上の留意点	形態
1	減法逆の加法の問題解決を通して加減の相互関係について理解する。	・減法逆の加法の問題場面であることをとらえる。 テープ図を用いて数量の関係をとらえ	関問題構造をテープ図に表すと加減の相互関係がとらえやすくなるように気づ	絵図 テープ図	・テープ図の初歩的な内容の問題文にそって順に構成し	コース学習(なるほどり)

(3) 少人数サポータ計画・依頼
地域の方で教員免許を持っている方。(現在4人)

2. 今後の課題

〔課題〕 (時) じかん：教員間の共通理解を図るための共通の教材研究の時間の設定が望ましい
 (教師) ひと：形態ウとエは、教師が3人いることが望ましい
 (輪) ばしょ：1クラス3ヶ所の学習の場が望ましい

* 日課表の工夫・少人数サポータの充実・多目的教室の利用計画等で課題を解消していく。

学力等把握のための学校としての取組

* 教育活動アンケート
 【調査の目的】教育課程の実施状況について、現状・成果・課題等を明らかにするため児童・保護者・教職員が行い次年度の教育課程の編成に向けて参考とする。
 【実施内容】別紙参照
 【時期】平成14年12月・平成15年12月に実施

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

今年度
 * 研究会 平成15年10月30日 対象：保護者・地域・周辺校
 * 教育活動公開週間 平成15年2月16日～20日 対象：保護者・地域
 * 研究紀要作成
 今後の予定
 * 研究会 平成16年10月予定
 * 教育活動公開予定
 * 研究紀要作成・学び方ノートの作成 など

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校

【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上

【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他

【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無